良い本に出合うための情報源

専門誌

「TOPPOINT」

1987年の創刊から約20年になる会員制月刊誌。発行元のパーソナルブレーン代表、橋本忠明さんが毎月100冊以上の新刊を読み、10冊を厳選。その概要を1冊4ページで紹介している。厳選のポイントは3つ。「内容が斬新」「アイデアに溢れている」「経営者、ビジネスパーソンの役に立つ」。多くの経営者が活用している。
http://www.p-b.co.jp/

要だけを伝えるのが特徴だ。契約購読者には経営者も多くいる。

ブログや専門誌を使わなくても、信頼のおける友人や先輩に本の目利きになってもらってもいいだろう。読書の達人たちが口を揃えて指摘するのは、人に薦めてもらった本は必読の書だということだ。推薦してもらった人に必ず感想を伝えるようにすれば、次も良い本を紹介してくれる可能性が高い。逆に自分が良い本に出合ったら、周囲の人に薦めよう。良いビジネス書に出合う良いサイクルが生まれるはずだ。

変わったところでは、新刊書を紹介する専門誌を活用する手もある。月刊誌の「TOPPOINT」は、毎月10冊のビジネス書を厳選して紹介。本を論評するのではなく、主観をほとんど交えずに、概

メルマガ

「ビジネスブックマラソン」

年間1000冊を読むというビジネス書出版コンサルタントの土井英司さんが3万8000人以上の読者に向けて1日1冊紹介する。現在までに1400回以上、発行している。本の内容を説明するだけでなく、土井さんの「本日の赤ペンチェック」のコーナーでは、ビジネスに役立つポイントが一目で分かるようになっている。
http://eliesbook.co.jp/bbm

ブログ

「マインドマップ的読書感想文」

本業は税理士というsmoothさんのブログ。「勉強法」「スキルアップ」「仕事術」などのビジネス書を中心にセミナーや講演会の感想などもまとめている。本のポイントがsmoothさんの視点でまとめられている以外に、取り上げた本に関連する本や参考資料にした本の過去記事にもリンクしている。
http://smoothfoxxx.livedoor.biz/

こまでは、本の選び方や読み方の基本を解説してきたが、ここでは実際に本を購入する際の目利きとして参考になる情報源を紹介しよう。

新聞や雑誌の書評欄は以前から定番だが、今、注目を集めているのが書評を扱うブログやメルマガだ。その影響力は、新聞や雑誌の書評を超えるとも言われている。書評用の献本を定期的に出版社から受けているブログの書き手も数多くいる。

ブログをテーマごとにランキングしながら紹介するウェブサイト「にほんブログ村」には現在、「書評・レビュー」というカテゴリーに825ものブログが登録されている（7月7日時点）。こうしたブログは書き手によって個性が様々なので、内容をよく吟味して自分と傾向が合っているものを参考にするとよい。

epiplex Lite
デキル新人あらわる の巻
何。。。
ウチの部署に期待の新人が入っただと…
アイツがウワサの新人は…
テキパキテキパキ
みるみる仕事が片付いていくわ
仕事が工数がノーンよ
彼なはいるのかしら
もうマニュアルが完成した!? 化け物じゃないか！
完了！
きゃ――――っ
詳しくは epiplex
キラーン
デキル新人の秘密をあばけ!!
操作 編集 完成
簡単3ステップ
マニュアル自動生成ツール！
・アプリケーション操作マニュアル作成
・アプリケーション操作の素材作成
・作業完了・障害報告書・作業ログ作成
epiplex
検索
サイバネットシステム株式会社
東京都千代田区神田練塀町３番地 富士ソフトビル
TEL：03-5297-3678
http://www.cybernet.co.jp